

# 平成 21 年度公立高校入試問題の傾向 国語

近年の公立入試では、ほぼ全ての県で作文が出題されています。そこで今回は、H21 年度の公立入試に出題された「作文」を分析しました。作文のご指導の参考にしていただけますと幸いです。

## H21 年度 「作文」について

### ●出題パターン

与えられたテーマについて自分の意見を書く課題作文型の出題パターンが例年通り最も多く、約 50% を占めている。次いで、文章や資料を読み取り、読み取れる内容を基に自分の意見を書くパターンも多く出題されている。また、スピーチ原稿や案内文を作成するような問題も見受けられるようになってきた。

### ●出題テーマ

「言葉」に関するテーマが最も多く、その中でも特に「敬語」や「言葉遣い」に関する内容のものが多。その他、地域に関するものや、ボランティア活動に関するテーマも出題されている。

### ●文字数

約 60% が、100 字～200 字で答えさせる問題である。しかし中には、300 字～400 字で答えさせる問題があったり、案内文などを書かせる問題では、短く簡潔にまとめた文章を書かせる問題もあったりする。

作文が書けるようになるための第一歩として、記述力を身につけることが大切である。今後は、より記述力育成に力を入れることを国語科の目標とし、教材制作を行っていきたい。